

香川大学教育学部

附属坂出学園だより



～ 地域に必要とされる学校園をめざして～

第72号

2023.11



少子高齢化の進行は、日本のみならず多くの先進国の課題です。そのような状況にあって、国立大学の附属学校は、その存在意義を広く示すためにも、ますます地域との密接なつながりが求められているように思います。附属坂出学園は、歴史的に地域コミュニティとのつながりも深く、コミュニティスクール的な役割を果たしてきました。地域社会に必要とされる学校作りを今後も続けていけたらと思います。

香川大学教育学部 学部長 平 篤志



長い長い自粛期間を経て、ようやく今年度は様々な行事が復活しております。

9月には4校園による合同運動会も無事実施することができました。「with コロナ時代」と言われる様に、新型コロナウイルス、インフルエンザを始めまだまだ感染症には気をつけなければならない状況ではありますが、行事復活初年度として、今後とも松韻会活動にご支援ご協力をよろしくお願いします。

松韻会 会長 立石 晃一

～人が集まり、みんながつながる学園を目指して～



地域の方も招待した夏休み作品展



保育について語ろうデー



附属特支中学部と附中生との交流

<めざす子供の姿を大切に>

全身で感じる水・泡・泥遊び

【年少児】

水や泡、泥の感触を楽しむ子供たち。大きなたらいで作った泡を使ってシャボン玉作りに挑戦したり、アイスクリームに見立ててごっこ遊びを楽しんだりしています。9月に実るヨウシュヤマゴボウで泡に色づけする子供も見られます。「お土産にして持って帰る～」と、うれしそうに泡を何袋にも入れていました。また、砂場では、「工事します」と道を作って水を流しますが、次第に沼のようになり、そこで腹ばいになる子、仰向けになる子など、全身で水や泥の感触を楽しんでいます。保育者も子供たちと共に泥んこになり、また、びしょ濡れになりながら遊びを楽しんでいます。



気持ちいい～♪

五感で楽しむ色水づくり

【年中児】

友達や保育者、実習生と一緒に、自然物を使った色水づくりを繰り返し楽しんでいます。透明カップに注ぎ、ジュース屋さんがオープンすると、遊びはさらに盛り上がります。

また、花や実の数を増やすと、色の濃さや香りの強さが変化することに気が始めた子供たち。「ぶどうジュースの色が変わった!」「このお花(ランタナ)をたくさん入れるとバナナの匂いがするよ」と、毎日発見がいっぱい。

これからも、子供ならではののみずみずしい感性を大切にしながら一緒に楽しみたい。



ジュース屋さんで～す!

自主・自律

共生・協働

探究・創造

アイデアを出し合いながら ～進化する野球～

【年長児】

2学期始業日から突如始まった野球。夏の甲子園の様子や大谷選手の活躍をテレビで見たり、夏休みに野球観戦に行ったりした子供たちは、牛乳パックをつないだバットや新聞紙を丸めたボールを作り、ボールを打つことを楽しみ始めました。初めはみんなが打ちたいため、バッターが一度に数名構えていましたが、教育実習生と一緒に楽しむ中で、次第にキャッチャーや審判が現れるようになりました。そして、チームでの対戦になると、仲間と作戦会議をしたり、応援団が大きな旗を振り、手作り太鼓の音と共に「かっ」とばせー!と声援が飛び交ったりするようになってきました。また、暑い中でもちゃんと自分たちでクーリングタイムを設け、水分補給を欠かさない子供たち。本物の甲子園の再現のようです。

「ぼくたち、侍ジャパン幼稚園代表やからなー」と、友達と顔を見合わせ意気込んでいます。これからも、友達と共に遊ぶ中で、自分の思いを伝えたり相手の思いに触れて考えたりしながら、一緒に活動する楽しさや充実感を味わえるよう支えていきたいです。



ナイスバッティング

5年 幼稚園との交流

5年生は来年度小学校に入学する青組さんとペア学年になります。入学する前から交流を重ねていることで、青組さんが入学した際、安心して学校生活がスタートできるようにしています。交流1回目として、7月に一緒にプールに入りました。初めて入る大プールに、最初は顔がこわばっていた青組さんもありましたが、「持っていてあげるからね」「もう少し、降りてみる?」「無理だったら抱っこするからね」と5年生が優しく声をかける姿がとても印象的でした。おかげで、初めは入るのを怖がっていた青組さんも、自分から進んで潜ってみたり、歩いてみたりなど、安心してチャレンジする姿が見られました。互いのよさが十分発揮できた時間となりました。



大きいプールに挑戦

3年 社会科探究学習

3年生は、社会科で坂出市にある工場やお店について学習し、協同食品の工場やイオン坂出店を見学させていただきました。見学を通して、安全でおいしい商品を消費者に届けるために様々な工夫が行われていることを学びました。また、食品ロスのような社会問題にも取り組まれていることを知り、自分たちにもできることを考えていこうとする姿が見られました。



スーパーのひみつを探ろう

4年 未来学習「支え合うから人」

4年生は、「支え合うから人」をテーマに学習を進めています。1学期は、合同運動会に向けて、「特別支援学校の友達と仲良くなろう作戦」と題して、特別支援学校のことを調べたり実際に交流したりしました。交流では、特別支援学校の友達が好きなことやものを参考に、遊びやプレゼントを考え計画を立てていきました。当日、相手を思いやって優しく言葉を掛ける様子がたくさん見られました。運動会以降は、障害についてさらに調べたり、幼稚園の子や外国の人との交流を通して、人との関わり方について考えを深めています。



力を合わせてスタート

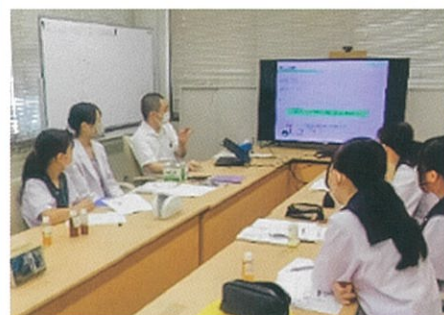
共創型探究学習CAN

共創型探究学習CANでは、生徒自らが設定した課題を多様な他者と協力しながら探究しています。与えられた問いに答えたり、調べ学習をしたりするのではなく、問いを自ら設定し、仮説を立てて探究しています。また、探究活動と一緒にやるのは、異学年小集団（クラスター）で、3年生は師匠、2年生は弟子、1年生は見習いとして、それぞれの役割を果たす中で、下に示しているような姿をめざしてほしいと願っています。探究活動は1年ごとの区切りとなりますが、毎年異なる立場でCANに臨むことになるため、3年間を通したカリキュラムであるといえます。

- （1年）役割を見つけ、自分なりの考えをもって活動できる
- （2年）自分の意見をまとめ、相手に伝えることができる
- （3年）メンバー全員が活動や話し合いに参加できるよう、コミュニケーションをとることができる

【CAN2022の探究テーマ例】

- ・ペットボトルロケット研究所3 ～どうしてペットボトルロケットはきれいな軌道で飛ばないのか～
- ・なぜ全開に開けるよりも対角に開ける方が効率よく換気できると言われているのだろうか？
- ・Let's protect the earth! ～どうしてプラスチックが減らないのだろう～



学校外の専門家の方に質問をしたり、現場に行ってお話を聞いたりもします。



6月の中間発表会。今年は、坂出高校の生徒にも聞いていただきました。



探究活動。先生も、生徒と一緒に悩み、考える姿勢を大切にしています。

わたしがつむぐ「ものがたり」の学び

これまで本校では「自立した学習者の育成」をめざし、生涯にわたって学び続ける意欲やその基盤となる力の育成を中心に授業実践及びカリキュラムの研究を進めてきました。

今期はより生徒が学びの主体となって、学習課題に向き合い、学習活動に熱中したり没頭したりすることが、学ぶことの価値の実感につながるのではないかと考え研究を進めています。その実現を図るため、子供の情意面に焦点をあて、困難、葛藤、衝突、成功、驚きといった、知性だけでなく情意をも働かされるような学びの場と生徒の姿が生まれる授業を目指しています。



夢中になって観察する姿



熱心に語り合う姿



試行錯誤する姿

<めざす子供の姿を大切に>

自主・自律

共生・協働

探究・創造

日常生活での自立

集団生活での自立

社会生活での自立

自立に向けたコミュニケーション能力

日常生活全てにおいて自立することは理想ですが、障害をもつ人にとって支援を受けることは必要です。その支援を求める際に必要なのが、コミュニケーションです。必要とする支援をいかに的確に依頼することがポイントとなりますが、日頃から周囲の人たちとコミュニケーションをとることで、人間関係を深めておくことも大切です。少しでも豊かな生活を送れるよう、学部ごとの大きな目標や個別の目標を設定し、各学部で個に応じた学習をしています。

小学部

小学部では、コミュニケーションツールとして、iPadを活用しています。朝の会でのスケジュールの発表や帰りの下校方法を友達に伝えるときに、ドロップトークというアプリを使って伝えています。発語のない児童がそれを使うことで、友達とのやり取りができるようになりました。自分のしたいことを指導者に伝えるときも、指導者の顔写真としたいことの写真を並べると、「〇〇先生〇〇をください。」と音声が出るので、自分の要求が伝わったという喜びを感じられることができます。また、歯磨きアプリを使って自分の歯を映しながら丁寧に歯磨きをすることができています。携帯情報端末を使うことで、生活での自立につなげていけたらと思います。

自分の要求を伝える様子

歯磨きアプリで歯を磨く様子

中学部

中学部では、学習支援アプリを使った学習に取り組んでいます。朝の会や帰りの会で、家庭で行った手伝いや、一日の学習の振り返りをテレビ画面に映して発表しています。友達の取り組みを見聞きすることができるので、伝わりやすい発表につながっています。

また、パワーアップタイムの感情の学習では、自分の気持ちをカードに書いて意見交換をしています。言葉で表現しづらい生徒でも、カードに書いて発表することで、考えを意欲的に表現する姿が見られています。友達の意見を共有することで、共感やコミュニケーション能力の向上など、集団での学びを深めるために、活用の幅を広げていけたらと考えています。



学習支援アプリを使った学習の様子



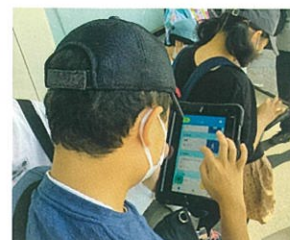
高等部

高等部では、生徒の学習能力や生活スキルの実態に合わせて、実際の手に触れ、感じてやり取りできるアナログ教材とともに、タブレット端末等のICT機器を活用した支援を行っています。覚えることや見通しをもつことが苦手な生徒に、活動の予定や取り組む課題のやり方等を示したタブレット端末のスケジュールアプリを活用しています。一日の日程を確認することができたり、一人で課題に取り組むことができたりする生徒も少しずつ増えてきています。

活用場面は校内だけでなく、校外学習や修学旅行等、校外にも広がっており、今後は作業学習や現場実習等、卒業後の職業生活を見据えて活用場面をさらに広げていく予定です。



生徒同士で教えあう場面



校外学習の途中でも日程や道順を確認

～ みんなで つながる

初コラボ！なかよく一緒にやってみよう♪

今年、幼稚園の青組さんと小学校1・2年生が初めてダンスでコラボレーションをしました。小学校1・2年生は、青組さんのお手本になれるように腕をしっかりと伸ばしてかっこよく踊りました。

青組さんも、小学生に負けずにお尻フリフリの可愛いダンスでした。最後まで応援してくれる皆さんに元気いっぱいの笑顔が届くように一生懸命に踊ることができました。

踊り終えた子供たちの表情は、満足感と達成感に満ちあふれていました。暑い中での練習でしたが、運動会を通して、どの子も一回りも二回りも大きく成長することができました。

子供たちの心に残る素敵なコラボレーションになりました。



元気いっぱいに踊る子供たち

4校園みんなでどった わ・わ・わ

午前中の最後の演技「みんなでどろう」では、4校園の子供たち、教職員、実習生が手をつなぎ、「沈丁花（DISH//）」の曲に合わせて踊りました。隣の友達と手をトントンと合わせたり、右へ左へ回ったりすると、大勢の心がひとつになったようでした。異校種間での交流をこれからも大切にしながら、互いに認め合い、支え合い、育ち合える関係を築き、附属坂出学園のきずなを深めていきたいです。



異校種でつながって



笑顔いっぱいの わ・わ・わ

きずなの わ・わ・わ ～



伝統の第5代附坂中ソーラン



4校園でつなぐ学園リレー

「きずな」を築いた合同運動会

4年ぶりの学園運動会が開催され、幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校の4校が協働して創り上げる運動会は、多くの感動を与えてくれました。マ스ゲームでは、プロジェクトを中心に、生徒全員が必死で練習していました。一人一人の表情からは、充実感や達成感を感じることができ、またひと回り成長した姿は胸を打つものがありました。保護者の皆様も、ご家庭での細やかなご支援、ご協力、また当日は暑い中声援を送っていたき、ありがとうございました。

「仲間と作った最高の思い出 3年生の演技を見て、今まで3年生がどれだけがんばってきたかが伝わった。演技はもちろん、とてもすばらしくて感動した。最後、演技が終わって泣きながら行進している人を見て、本当にがんばったんだと思って、つられ泣きしそうになった。」

(生徒の振り返りより)



小交流「息ぴったり！ボール運び」



中交流「みんなで つなげる ほいさっさ」

みんなで協力した交流種目

小学部は小学校4年生と、中学部は中学校3年生と交流種目をしました。小学部は「息ぴったり！ボール運び」をしました。4人組で大きなトレイを持ち、ボールをのせて運びました。中学部は「みんなでつなげる ほいさっさ」をしました。4人組で2本の棒を持ち、ボールをしっかりと挟んで運びました。どちらもボールを運ぶ競技でしたが、ペアの友達と協力して取り組むことができました。

事前の交流学习で自己紹介をしたり、一緒にゲームをしたりすることで、友達と仲良くなることができました。また、交流種目の練習にも取り組むことができました。

当日はたくさんの方がいて、戸惑う児童生徒もいましたが、小学校や中学校の友達が声を掛けてくれることで、安心して交流種目や合同運動会に参加することができました。『みんなで つながる きずなの わ・わ・わ』のテーマ通り友達との絆を深めることができました。



小学部交流の様子



中学部交流の様子

心の支援部の取組

学校保健安全委員会

～ 心と体を育てるために ～



附属坂出学園のSCとして勤務し、5年目になります。幼小中を通して子供たちと関わる中で、一人一人に個性があり、社会の中でもたくましく成長する力をもっていると感じています。子供たちがもつ可能性を信じ、保護者の皆様の想いや願いをお聞きし、先生方とできることを考えながら、活動を行っています。(SC 入江 輝)



附属坂出中のSCとして4年目になりました。学校の先生方と協力して、生徒・保護者の皆様がよりよい生活を送れるように活動します。よろしくお願いします。(SC 谷渕 真也)

現在、附属特別支援学校の高等部の生徒さんに「自分のこと、困っていること」を話してもらい、学校生活をサポートする活動に取り組んでいます。将来、困った時に誰かに話して助けてもらう経験に、少しでも繋がればと願っています。(SC 長谷 綾子)



今年度より、小、中のSCとして関わらせていただいております。子供たちや保護者の皆さん、学園の先生方や心の支援部の皆さまとのコミュニケーションを重ねながら、その時々抱えている課題と一緒に乗り越えていくためのお手伝いができればと思っています。校内で見かけた際には、ぜひ気軽にお声がけください。(SC 島田 梨沙)



皆さん一人一人の強みを活かした生活を、皆で支え合いながら送ることができるよう、児童生徒や保護者、先生方と日々の活動の中で会話を重ねています。スクールソーシャルワーカーとして、校内外の繋がりも活用しながら活動していますので、「こんな時どうしたらいい？」等、ちょっとしたことで結構です。お気軽にお声掛けください。(SSW 藤澤 茜)

学校保健安全委員会 ～幼小中のつながいを大切に～

学校保健安全委員会は、学校園における幼児・児童・生徒の健康課題を取り上げ、改善策について協議し、日々の健康づくりの推進を目的としています。本年度は小学校が中心となり、7月7日(金)に対面・オンラインのハイブリッドによる方法で開催しました。

近年、学校におけるICTの活用、一人一台端末の推進など、子供たちはこれまで以上にメディアとうまく付き合っていく力が必要となっ

てきています。また、その力は子供たちを支える大人にも必要な力です。これらの課題を踏まえ、オフラインキャンプやネット・ゲーム依存の問題に積極的に取り組んでいる三光病院 臨床心理士 野仲和真先生を講師に迎え、ネット・ゲーム依存の仕組みや思春期の子供たちへの関わりやケアについてご講演いただきました。その後、参加者同士でメディアから発生する子育ての悩みなどについてグループワークも行いました。また、学校医の佐藤融司先生には夏に多い胃腸炎や熱中症についてご講話いただきました。



～様々な人が集まり 関わり合う学園に～

幼稚園

復活！手作りおもちゃ

数年ぶりに保護者の方による「手作りおもちゃ」が復活しました。

制作中は、子供たちが身に纏っている姿や喜んで遊びに使う様子を思い浮かべながら、保護者の皆さんで協力し、色や大きさなども工夫して取り組んでくれました。

子供が笑顔になる一躍を担うことができ、遊びの中の一員になったと感じる時間になったようです。愛情たっぷりの手作りおもちゃ。大切にたくさん使わせてもらいますね。



ふかふかお布団



この色、好きそうだね

小学校

歴史に魅せられて

6年生は、本学園卒業生の井上隆史さんをお招きして、シルクロードの神秘さや面白さについて話を伺いました。井上さんが、どんな思いでシルクロードの研究を進めていったのかを知ることができました。

歴史、民族、自然など、交易路として重要な役割を果たしたシルクロードについて、子供たちも興味をもって熱心に話を聞いていました。



歴史に思いをはせて

中学校

交流を通した多様な学び

5月23日(火)、2年生外国語科の授業では、コ罗拉大学の学生との交流授業を行いました。生徒たちは日本の文化を英語で伝えようと、身振り手振りも交えながら、悪戦苦闘していました。自分の思いが何とか伝わったときの喜びは、格別だったようです。



ネイティブな英語に触れて

6月29日(木)、3年生家庭科の授業では、地域のために子供たちの交通立哨を行ったり、防災に尽力したりしている高齢者を招きし、話を聞きました。高齢者の理解とともに、「地域と協働しながら生活することの大切さ」を学ぶことができた、貴重な機会となりました。



地域の方から学ぶ

特別支援学校

にぎやかに春季運動会

5月13日(土)に春季運動会を開催しました。入場制限なしで、保護者や卒業生たちにも参加していただき、久しぶりににぎやかな運動会となりました。

「徒競走」「ダンス」「全校色別チーム対抗の綱引き」「やまももボッチャ」「リレー」など仲間と協力したり応援したりと、とても盛り上がりしました。

「みんなでodorou」では、学校のオリジナルソング「空のパレット」に合わせて大勢の人たちと楽しく踊ることもできました。



中学部徒競走



綱引き



みんなでodorou

松 韻 会

夕涼み会（幼稚園）

今年度の夕涼み会は7月8日（土）に初めて土曜日開催で行われました。2部制にして参加者の人数制限をなくしたことで、多くのご家族に楽しんでいただくことができました。4年ぶりの盆踊りに笑顔いっぱいの園児たちは、暑さも忘れ楽しいひと時を過ごしました。園児と先生がアイデアを出しあって作り上げた出し物や保護者の方ご協力のバザー等、さまざまな体験を通じて、親子で夏らしい豊かな経験ができるよい機会になりました。



坂出大橋まつり 総踊り参加（小学校、幼稚園）

8月5日（土）『第58回坂出大橋まつり総踊り』に総勢165名で参加しました。4年ぶりの開催ではありましたが、多くの方々にお申し込みいただき、夏の夜の時間を楽しみました。大きな声で音頭を取りながら、最後まで力いっぱい踊る子供たちの姿は感動的で、素敵な夏の思い出になりました。ご協力頂いた先生方、保護者の皆様ありがとうございました。



第50回坂出市PTAバレーボール大会（幼稚園・小学校・中学校）

7月2日（日）に市立体育館にて坂出市PTAバレーボール大会が久しぶりに開催されました。参加チーム数は男子10チーム・女子17チームで、附属坂出学園も幼稚園・中学校で参加しました。練習から幼稚園・小学校・中学校の保護者が集まって楽しく練習している光景を再び見る事ができて本当によかったと感じました。

子供たちにも結果を残して保護者の頑張っている姿を見せながら、スポーツを通じてこれからも幼稚園・小学校・中学校のPTAが一体となって交流が出来ればと思います。ぜひ12月10日（日）坂出市PTAソフトボール大会、そして来年のバレーボール大会に向けて、練習だけでも参加してください。

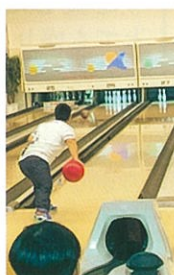


親 和 会

ボウリング大会

7月29日に4年ぶりのボウリング大会を開催することができました。当日は多くの児童生徒、保護者職員が参加し、盛り上がりました。児童生徒の皆さんはガター防止レーンで、楽しみました。中には意図的ではないけれど、防止レーンのおかげでスベアが取れた人もいました。ストライクやスベアが取れたときはとても素晴らしい笑顔でした。

保護者の中には学生時代によくやっていたというボウリング世代の方から、ほとんど経験ない方まで様々でしたが、それぞれが楽しく参加できていました。コロナ禍の制限がなくなり、ようやくみんなで楽しく活動することができました。皆さんの楽しそうな表情を見ると再開できてよかったと感じました。



編集後記

苦しかったトンネルを抜け、新たな時代がスタートしました。閉ざされた3年間は、私たち一人一人が、これから何をすべきか考えるために与えられた時間だったのかもしれませんが。人とのつながりの大切を強く感じた今、もう一度、お互いのよさを理解し、附属坂出学園の学び、そして、教えをつないでいかなければならないのではないかと思います。支えてくださっている方々への感謝の気持ちを忘れず、子供たちの学びを支えていきます。これからも附属坂出学園を見守っていただけたら幸いです。

発行年月日：2023年11月吉日

発行事務局：香川大学教育学部附属坂出学園